

地域と連携した文化財消防訓練実施

恵那市消防本部

平成25年1月20日、恵那市消防本部は、同26日の文化財防火デーに先立ち、国の重要伝統的建造物群保存地区周辺で、岩村消防署職員と地元消防団、保存地区住民等、約100名と消防車両13台が参加して、軽可搬ポンプによる住民の消火を含む、消防訓練を実施しました。

この訓練は、伝統的建造物群保存地区内にある浄光寺付近で建物火災が発生、保存地区内の2箇所へ飛び火したとの想定で、消防署と消防団は直近にある岩村振興事務所に現場本部を設置し、各部署の指揮命令系統での訓練も併せて行いました。



消防団による消火訓練

文化財を火災から守る！

豊中市消防本部

豊中市北消防署は、1月19～26日の一週間、文化財防火運動を実施。市民の財産である文化財を火災等の災害から守るため、また広く市民及び職員に対し文化財保護思想の普及啓発を図ることを目的に、毎年実施しています。

1月24日には、日本民家集落博物館内にある国指定重要文化財「日向椎葉の民家」をはじめ、管内13の寺院等文化財を対象に消防訓練と査察を実施しました。訓練では、自衛消防隊の迅速かつ的確な初期消火や消防隊と消防団が一体となった本番さながらの訓練が繰り返されました。



文化財の消防訓練

消防通信

望

楼

ぼうろう

尼崎市消防出初式の開催

尼崎市消防局

平成25年1月6日、尼崎市消防局は消防出初式を開催。本田良生消防局長は「地域密着が尼崎消防の原点であり、地域との絆をより強固なものにしていく」と訓示。市長を始め多くの観客が見守る中、約1,800名の消防関係者による分列行進や市少年音楽隊吹奏楽隊の演奏会の他、特殊消防車両展示、救急普及啓発、防火紙芝居、防火衣試着等、ちびっこを対象とする体験イベントも実施。七松幼稚園の園児はゆるキャラたちと一緒に「火遊びはしません」と誓い、消防団員は迫力溢れる訓練を披露しました。



迫力満点の消防訓練

園児が“はしご乗り”を披露

天草広域連合消防本部

平成25年1月13日、新春を飾る恒例の天草市消防出初式が行われ、消防職員を始め消防団員、女性消防隊員、幼年消防クラブ員らが参加して盛大に挙行されました。近年、集中豪雨や地震などの大規模災害が多く発生しており、気持ちを新たに規律厳正で士気旺盛な出初式となりました。

冷たい小雨の中で行われた東向寺保育園幼年消防クラブ員による“はしご乗り”では、消防職員の指導のもと熱心に練習を重ねた子供達の威勢の良い掛け声と、見事なはしご乗りが披露され、大きな拍手が送られました。



子どもたちによる“はしご乗り”

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】